

2013 介護職の元気が出るセミナー in 新百合ヶ丘

在宅サポートセンター生田主催 生活とリハビリ研究所後援

Think Together Kaigo

物語り ① 長野県上田市武石村発

訪問医・矢嶋嶺さんの 「家で死ぬる」を支える在宅医療



「医療が介護の邪魔をする」の著者だから語れる「家で死ぬ」ことの現実。長野県上田市武石村から往診医が追求する在宅医療の今を語ってもらいます。

講師紹介

1933 年長野県生まれ。1960 年信州大学医学部卒業。信州大学医学部第一外科教室、結核研究所外科、厚生連北信総合病院外科を経て、依田窪病院院長、武石村診療所所長、武石村高齢者福祉センター所長を歴任。現在、矢嶋診療所・グループハウス「遊子舎」所長。

「死ぬる」を

物語り ② 東京都北区特養「あじさい荘」発

保健師・鳥海房枝さんの こだわり続ける終末期ケア



生活と医療を結ぶ施設ケアを実践する特養「清水坂あじさい荘」。大規模施設がこだわり続ける終末期介護の姿を語ってもらいます。

講師紹介

千葉県出身。豊島区の保健所を皮切りに保健師歴 38 年。1998 年、新設の北区立特別養護老人ホーム「清水坂あじさい荘」に希望して赴任。保健師としての原点「生活への関わり」を要につくりあげた「あじさい荘のケア」が現場から大きな支持を受けている。

生活リハビリ流 4つの 看取りケア 物語り 白書

入居者 A さんの「死ぬる」を支えた 6 年間の軌跡を当センターの介護主任・平田晶子が報告します。

パネラー紹介

特養、有料老人ホームでの介護職を皮切りに、在宅介護支援センターの相談員として様々な困難事例を経験。その後、在宅サポートセンター生田の開設メンバーに。現在、副センター長として、また介護主任として、生活ケアを牽引する。



泣いて、笑って、看取った!!
6 年間の介護と看取りの一部始終

物語り ③ 在宅サポートセンター生田発

支えた

矢嶋先生、鳥海さん、平田主任に加え、グループホーム響での看取りに関わる岸忠宏医師（日本ケア創造株式会社代表）も加わり、看取りケアの未来を語っていただきます。

パネラー紹介

川崎市多摩区出身。1985 年聖マリアンナ医科大学卒業。1992 年聖マリアンナ医科大学内科学部長を歴任。2000 年より地元多摩区にて岸胃腸科内科医院院長就任。2008 年日本ケア創造株式会社の代表に。グループホーム響入所者の往診を通して、看取りケアを支える。



トークセッション
「看取りの日」から見えてきたものは

物語り ④ アルテリオ小劇場発

介護と切っても切れない「看取りケア」をともに考えるセミナーです

6/23 日

10:00 ~ 16:30

受講料 /4,000 円

ブリコ購読者は 3,500 円に引き

会場：川崎市アートセンター アルテリオ小劇場
Tel.044-955-0107 川崎市麻生区万福寺 6-7-1
小田急「新百合ヶ丘」駅北口下車徒歩 3 分。

好評
受付中
です

申し込みは、044-955-1722 まで FAX を

お名前 施設名			ご住所	
		ご連絡先		
参加人数	名	参加者のお名前		